

千代田区長 様

記入例

建築物名称 ×ビル

建築物所在地 千代田区外神田1-1-6

所有者住所 千代田区外神田1-1-6
株式会社〇△商事

所有者氏名 代表取締役〇〇〇〇

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

《注②》

千代田区一般廃棄物の処理及び再利用に関する条例第14条第3項の規定により、事業用大規模建築物における新元号元年度又は2019年度の再利用計画書を以下のとおり提出します。

建築物の属性				
地上 階 地下 階	事業用延べ床面積	《注③》 16,956㎡	建築物の用途	
複数の建築物を一括して提出する場合の建築物名称等（下4行に記入）			事務所 4社 11,000㎡	
建築物の名称			店舗（飲食店を除く） 1店 3,300㎡	
建築物の所在地			飲食店・ホテル・式場 0店 ㎡	
階数（地上・地下）			工場・研究施設 1所 400㎡	
事業用延べ床面積			倉庫・流通センター 所 ㎡	
当該建築物を使用している事業者の名称（別紙添付可） 《注④》			医療機関 1所 100㎡	
<input type="radio"/> △企画 <input type="checkbox"/> △△不動産 <input type="radio"/> ○×物産 <input type="checkbox"/> □□商会 <input type="checkbox"/> ○〇屋 <input type="checkbox"/> □△医院 <input type="checkbox"/> ◇◇研究所			その他（ ） ㎡	
在館人員 従業員（テナント従業員含む） 500人 計			住宅 2世帯 300㎡	
《注⑤》 外来者（通学者を含む） 45人 545人			共用部分 《注⑥》 2,200㎡	
			計 17,300㎡	
廃棄物の種類	廃棄物収集運搬業者	許可番号	持込先	ごみ減量及び再利用の現況
一般廃棄物	(株)〇〇商会		東京都☆☆清掃工場	
再生資源の種類	再生資源回収業者	持込先		平成30年4月に設置した分別回収ごみ容器及びリサイクルボックスが定着し、再生可能な紙類等の大半がリサイクルされるようになった。
紙類	(株)〇〇商会	(有)□◇紙業		
段ボール	〇△商店	〇□産業		
厨芥	△▽商店	(株)☆☆農園		
ビン類	(有)〇〇センター	▽▽ガラス(株)		
カン類	◇◇興業	◇◇リサイクルセンター		
廃油	(有)●●商事	△▽油脂		
今年度の目標			廃棄物管理責任者	
1 今年度計画と前年度実績を比較して増減を予想される事由等 ・焼却していた伝票類をリサイクルしたため。 ・今年度建替え(取壊し)により、〇月より減となる。 (解体予定 〇〇〇〇年〇月頃、竣工予定 〇〇〇〇年〇月頃) 2 ごみ減量及び再利用についての今年度の目標 ・再利用率を10%アップさせる。 3 今後の具体的な取り組みについて ・テナント会議で処理量を減らす為の協力を呼びかける。 ・ビル内を定期的に巡回して、分別状況を確認する。			選任年月日	平成29年4月1日
			廃棄物管理責任者講習会受講	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無
			(受講年月日)	平成29年7月7日
			会社名	株式会社 〇〇〇会社
			所在地	〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区外神田1-1-6
			所属名 職名	〇△部〇〇課 部長
ふりがな	ちよだ たろう			
氏名	千代田 太郎			
電話番号	03 (3251) 0566 内線 〇〇〇			

《注①》 本計画書の作成年月日を記入してください。(年号表記は、和暦・西暦いずれも可)

《注②》 要綱の所有者の範囲等を参考にしてください。

《注③》 事業用延べ床面積には、住宅分の面積を含めず、共用部分については、事業用途分と住宅分と按分し、事業用途分のみ加算してください。

《注④》 事業者とはテナント名です。書ききれない場合は、別紙で添付してください。所有者自身だけが入居している場合は記入しないでください。

《注⑤》 外来者は、1日平均の人数を記入してください。

《注⑥》 共用部分とは、階段、廊下、機械室、ロビー等不特定多数が使用している部分です。

再利用計画書の記入例

※提出用は「今年度計画」「対前年度」の数量欄も記入してください。

建築物名称	○×ビル
-------	------

種類	年度区分	前年度実績(2018年4月～2019年3月)				今年度計画(2019年4月～2020年3月)			対前年度(今年度計画-前年度実績)			
		発生量 (A)	処理区分		再利用率 (B÷A×100)	発生量 (D)	処理区分		再利用率 (E÷D×100)	発生量の増減 (D-A)	再利用の増減 (E-B)	廃棄量の増減 (F-C)
			再利用率 (B)	廃棄量 (C)			再利用率 (E)	廃棄量 (F)				
事業系廃棄物	可燃物	①コピー・OA用紙	20.0t	20.0t	・t	100.0%	・OA用連続帳票の量もこの欄に記入。 ・色付きOA用紙は「③雑誌」の欄に記入(分別)してください。 ・一括して廃棄した保存文書や機密文書の量(通常と別契約も含む)の記入。 ・シュレッダー処理したものは含まない。(⑥または⑦へ記入) ・新聞折込以外のチラシ等はこの欄に記入。 ・①～⑤以外リサイクルしている雑古紙・シュレッダー等 ・再生できない紙ごみ(焼却しているシュレッダーしたものも含む)。					
		②機密文書等(一括処理文書)	1.5t	1.5t	・t	100.0%						
		③雑誌・パンフレット・色付き紙	7.5t	7.5t	・t	100.0%						
		④新聞・折込チラシ	1.6t	1.6t	・t	100.0%						
		⑤段ボール	9.5t	9.5t	・t	100.0%						
		⑥ミックスペーパー	21.9t	21.9t	・t	100.0%						
		⑦その他(再利用不可能な紙くず)	5.5t	・t	5.5t	0.0%						
	紙類小計(①～⑦の合計)	67.5t	62.t	5.5t	91.9%							
	その他	⑧生ごみ(茶殻、残飯、吸殻等)	30.5t	20.t	10.5t	65.6%	・一般廃棄物の「しさ・ふさ」「動物死体」「医療廃棄物(焼却分)」もこの欄に記入。					
⑨木・草・繊維等		2.0t	・t	2.0t	0.0%							
その他小計(⑧⑨の合計)		32.5t	20.t	12.5t	61.5%							
可燃物合計(①～⑨の合計)		100.t	82.t	18.t	82.0%							
不燃・焼却不適物	再生利用物	⑩飲食用びん類	11.7t	11.7t	・t	100.0%	・自動販売機設置業者回収(ベンダー回収)分についてもすべて処理量に含めてください。					
		⑪飲食用缶類	8.6t	8.6t	・t	100.0%						
		⑫ペットボトル	3.1t	3.1t	・t	100.0%						
		⑬食用油	0.2t	0.2t	・t	100.0%						
	不適物	⑭弁当ガラ	2.2t	・t	2.2t	0.0%	・弁当ガラについては、処理業者との契約上、再利用または廃棄されているもの全て処理量に含めてください。 ・ビニール類、発泡スチロールなど ・⑩～⑬以外の金属、ガラスなど					
		⑮その他(廃プラスチック等)	2.0t	2.0t	・0t	100.0%						
		⑯その他()	・t	・t	・t	・%						
不燃・焼却不適物合計(⑩～⑯の合計)		27.8t	25.6t	2.2t	92.1%							
⑰特定の事業活動に伴う可燃物		・t	・t	・t	・%	・特定事業者から排出される、産業廃棄物に該当する「木くず」「紙くず」「繊維くず」等						
総合計(①～⑰の合計)		127.8t	107.6t	20.2t	84.2%							

備考
 ・数量については、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの表示にしてください。
 ・再利用率は、再利用率を発生量で除し、%表示で、小数点以下第一位まで記入してください。(小数点以下第二位を四捨五入)
 ・()内は主な具体的内容等を記入してください。

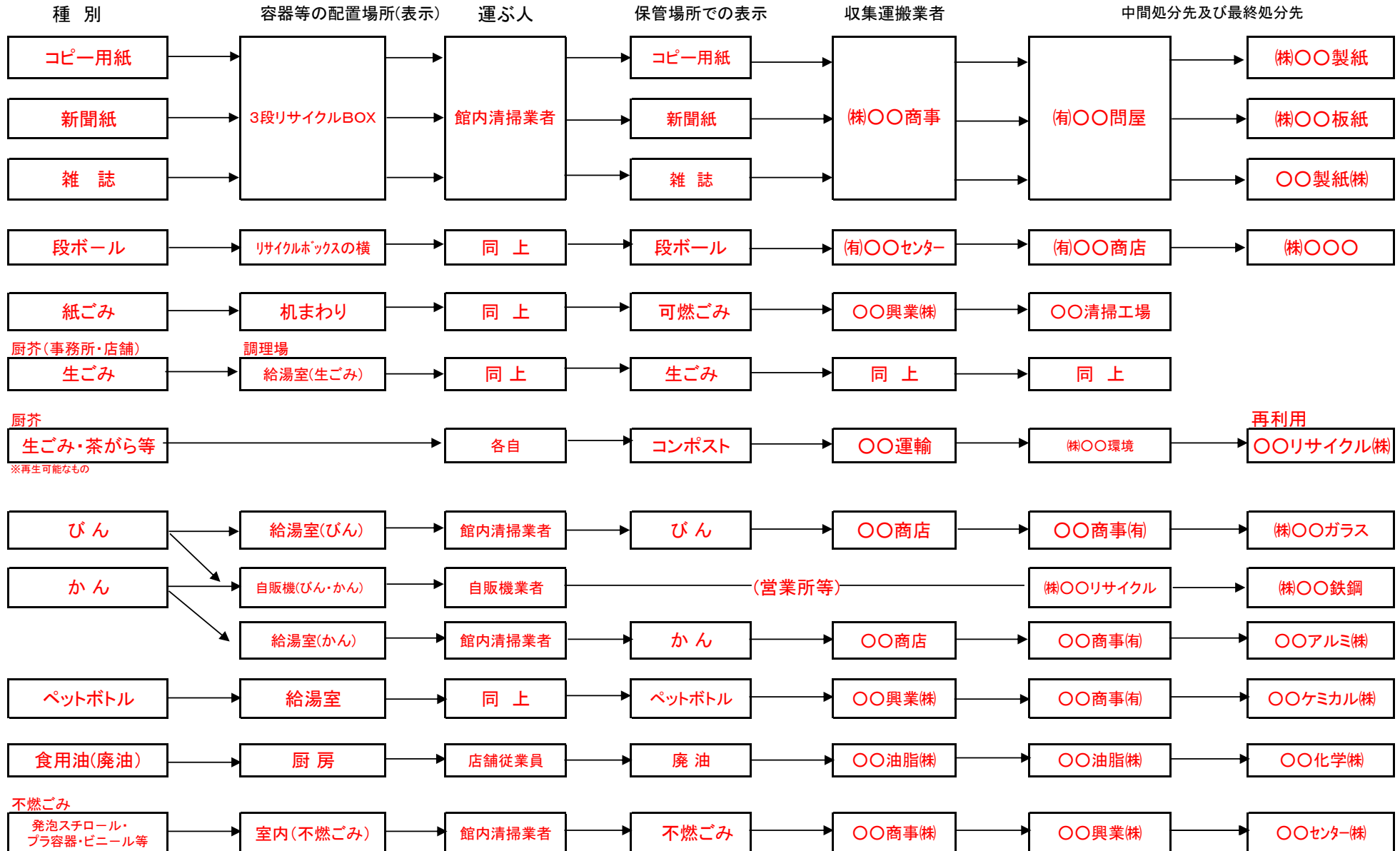
<記入例>

新元号元年(又は2019年) 5月20日現在

ごみ処理・リサイクルフロー図

建築物名 ○×ビル

(区収集に出されている場合は、右「区収集」に○を記入し、わかる範囲で下記に記入してください。 区収集)



厨房(事務所・店舗)

調理場

厨房

※再生可能なもの